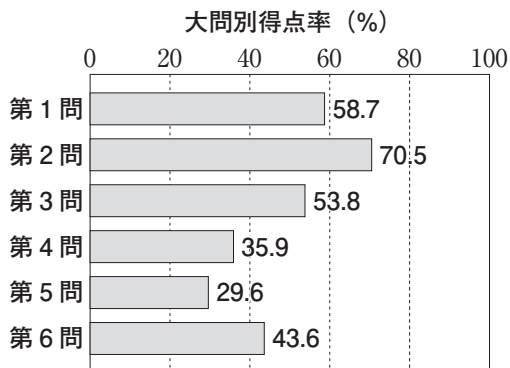
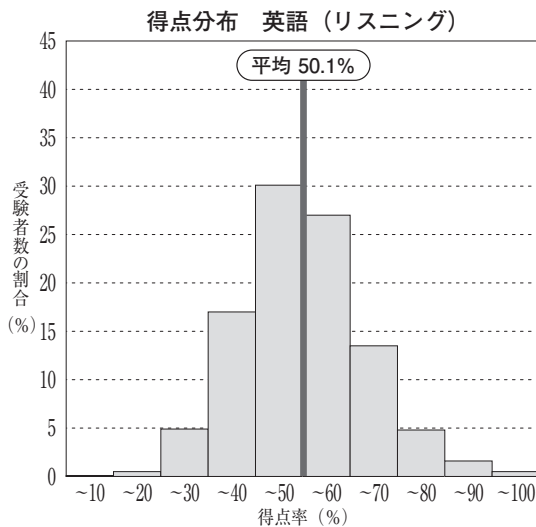


英語(リスニング) [高1生部門]

音読で聞き取り力をつけながら、高レベルの問題に挑戦しよう。

I. 全体講評

全国統一高校生テスト[高1生部門]のリスニングの平均点は50.1点(得点率も50.1%)という結果だった。この模擬試験は、今年の大学入学共通テスト試行調査のリスニングテストのバージョンBとほぼ同じ形式・レベルの問題になっている。今年度のセンター試験のリスニング問題よりもスクリプトの分量が3割以上増えており、また複数の話者の意見を聞いて比較したり、講義の概要をまとめたワークシートの空所部分を完成させたりする問題などもあった。



要するにパリエーションに富んだ英語を聞いて、そこから必要な情報を読み取る(聞き取る)リスニング力が求められていると言える。高1生は、センター試験に代わり大学入学共通テストを受験することになるので、今からじっくりと多種多様な英語の聞き取り練習をして、どのような設問にも対応できるリスニング力を身につけていってもらいたい。

II. 学習アドバイス

リスニングといっても、まずは内容を理解するために必要な語彙力・文法力などの基礎力を固めることが先決なので、あせらず基礎固めを行うこと。また、英語を頭から理解する必要があるリスニングの学習は、知らず知らずのうちに英語力全般の向上にもつながるので、基礎固めを終えた人は積極的にリスニング学習を行おう。以上の点も含め、リスニング学習の方法としては次のことが挙げられる。

- ① 読み上げられた内容を理解するための、語彙力・文法力などの基本を固める。
(スクリプトを「読めば理解できる」ように語彙などを確認する)
- ② 内容を理解したら繰り返し音読する。
ネイティブの音声をまねて、リピート(音を聞きスクリプトを見ながら発音する)やシャドーイング(何も見ずに音を聞き発音する)を行う。
- ③ ディクテーション(音を聞き取り書き写す)を行い、自分が聞き取れない音を把握して覚えていく。

まずは①の学習をしっかりと行っただけで、②の音読を行うこと。よく理解した教科書などの音読を日頃からネイティブの音声をまねてしっかり行えば、英語のリズムをしっかりと身につけていくことができる。東進のホームページでは、模試の音声を公開しているので、長めの音声の第4問や第5問などの音読をネイティブスピーカーの発音に合わせて行ってほしい。